

2月の科学あそび分科会

「小さなかがくの芽のための工作」

～幼児から楽しめる簡単工作～

報告 藤田あづさ

2月の科学あそび分科会は、身の回りにある材料を使った簡単工作を楽しみました。今回紹介した工作は、川崎にある科学館の冬休みイベントで、1日150人位(幼児からお年寄りまで)の参加者で、ブース形式で行ったものです。クリスマスの飾りや、お正月に遊べるもの遊びました。



1. ロケット



2. クラッカー



3. くるくる



4. ハートのかざり

1. ロケット
- 材料:・紙管(トイレットペーパーの芯など)
・ポリ袋
作り方:紙管にポリ袋をつける。(輪ゴムでとめてから、セロハンテープでとめる。)
遊び方:ポリ袋をふくらませて、紙管の端に紙コップをのせる。ポリ袋を軽く手でたたいて、紙コップを飛ばす。
2. クラッカー
- 材料:・紙管・厚手のポリ袋・輪ゴム
- 作り方:紙管に輪ゴムをつけて、紙管を斜めに切る。紙管の下に紙コップを置き、紙管を斜めに切った部分を上に向け、紙管の端に紙コップをのせる。紙管を軽く手でたたいて、紙コップを飛ばす。
3. くるくる
- 材料:・組み合せた色画用紙
- 作り方:組み合せた色画用紙をくるくると巻いて、輪ゴムで固定する。
4. ハートのかざり
- 材料:・直線の市松模
- 作り方:直線の市松模をハートの形に組み合わせる。

材料も少なく、作り方も簡単ですが、とても楽しく遊べます。参加者の年齢や工作時間によって、紙コップにハネや模様をつけたりして、いろいろ発展させることができます。

2. クラッカー

紙管・厚手のポリ袋・輪ゴムを使って、クラッカーのような音の出るおもちゃです。10年位前の「母の友」(福音館書店)に紹介されていた工作です。

3. くるくる

組み合せた色画用紙がくるくると回ります。

4. ハートのかざり

北欧のクリスマスかざりで、直線の市松模はよくみかけますが、ちょっと工夫するとハートなどいろいろな模様ができます。

工作をしながら、ブース形式のイベントで注意していることとして、安全面の注意点、材料の前準備について紹介しました。特に幼児の参加もあるので、はさみの使用については注意しています。机に置いたままにせず、使用するときに手渡し、使用後はすぐに回収することを徹底しました。

科学あそび分科会の翌日、原田さんよりメールをいただきました。ロケットの「袋の下がひろがってしまうので、写真(上記)のように結んだら、まん丸になりました。ちょうど結び目の所をねらってポンとやるとすごく飛ばしやすいです。飛ばしてキャッチ!で遊びました~」

